



○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、黒部川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。  
 ○黒部川流域は、大規模工場等の立地も多く、北陸新幹線の開業も相まって、今後さらなる発展が期待される反面、急流河川特有の短時間での洪水流量の増大やその流水が土砂を多く含んだ強大なエネルギーを有す等、水害リスクが高い地域である。  
 ○このため流域一体となって、堤防決壊を防ぐための急流河川対策、堤防整備、樹木伐採、河道掘削の実施、霞堤の保全、企業水防支援やライフライン・交通のBCP支援のための水害リスク情報の充実等を実施する。  
 ○この取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、急流河川特有の侵食による堤防決壊を防止し、戦後最大の昭和44年洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

**■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

- ・流下能力の確保（樹木伐採、河道掘削、堤防整備）
- ・急流河川対策
- ・既存ダム6ダムによる事前放流等の実施・体制構築
- ・連携排砂（ダム機能の維持、河床低下の防止、海岸侵食の進行抑制）
- ・砂防関係施設の整備
- ・海岸保全施設の整備・養浜
- ・森林整備・治山対策
- ・土砂災害・流木リスクの分析に基づく対策の実施

**■被害対象を減少させるための対策**

- ・霞堤の保全（氾濫流の拡大防止）
- ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）

**■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・大規模工場等の企業水防支援（水災害リスク情報の充実）
- ・ライフライン・交通のBCP支援（水災害リスク情報の充実）
- ・監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握
- ・マイ・タイムライン、要配慮者施設における避難確保計画の作成支援
- ・排水作業準備計画の活用
- ・緊急輸送ルートの確保（河川管理・海岸工事用通路の整備・活用）
- ・水害リスク空白域の解消

・大規模工場等の企業水防支援  
 ・ライフライン・交通のBCP支援  
 ・監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握  
 ・マイ・タイムライン、避難確保計画の作成支援  
 ・緊急輸送ルートの確保

・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み

・大規模工場等の企業水防支援  
 ・ライフライン・交通のBCP支援  
 ・監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握  
 ・マイ・タイムライン、避難確保計画の作成支援  
 ・排水作業準備計画の活用  
 ・緊急輸送ルートの確保

・霞堤の保全  
 ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み

・霞堤の保全  
 ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み

・大規模工場等の企業水防支援  
 ・ライフライン・交通のBCP支援  
 ・監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握  
 ・マイ・タイムライン、避難確保計画の作成支援  
 ・排水作業準備計画の活用  
 ・緊急輸送ルートの確保

海岸保全施設の整備・養浜（下新川海岸）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

霞堤の保全（国・関係市町・土地所有者）



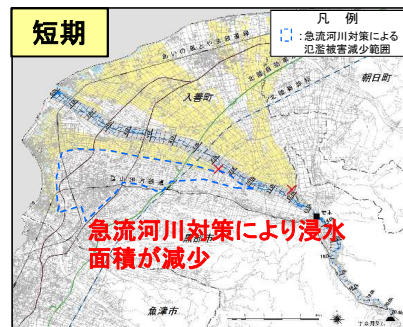
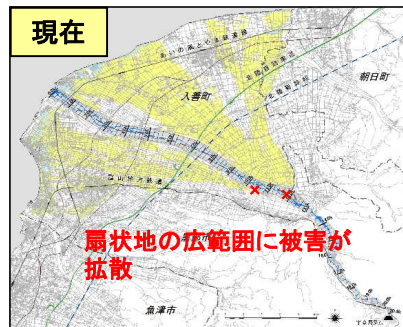
# 黒部川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】（案）

～清流されどあばれ川 急流河川黒部川を流域一体で治める～

- 黒部川では、砂防、ダム、河川、海岸の各領域で、国、県、市町、施設管理者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】侵食による堤防決壊を防ぐため、急流河川対策、堤防整備、樹木伐採、河道掘削を実施。あわせて急流河川かつ急勾配の扇状地地形のため、洪水・土砂が短時間に流下することや海岸が近接する特徴を踏まえ、既存ダムによる事前放流、砂防・治山・海岸保全対策、立地適正化計画への防災指針の記載と取組、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援、霞堤の保全のための土地利用ルールの検討や、製造業立地の比率の高い地域特性を踏まえ、大規模工場やライフライン・交通の水防支援のための災害リスク情報の作成・共有等を実施。
  - 【中期】戦後第2位の洪水を安全に流すための堤防整備、樹木伐採、河道掘削を実施。あわせて、霞堤の保全のための土地利用ルールの運用、浸水防止計画、BCPの策定等を実施。
  - 【中長期】戦後第1位の洪水を安全に流すための堤防整備、樹木伐採、河道掘削を実施。

区分	対策内容		実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫を出来るだけ防く・減らすための対策	流下能力の確保	樹木伐採、河道掘削	黒部河川事務所	戦後第2位洪水(4,800m³/s)対応		戦後第1位洪水(5,200m³/s)対応
		堤防整備	黒部河川事務所	縦工整備		
	急流河川対策		黒部河川事務所	治水協定に基づく事前放流の実施		
	既存ダム6ダムによる事前放流の実施・体制構築		黒部河川事務所 富山県、施設管理者	排砂計画に基づく連携排砂の実施		
	連携排砂(ダム機能の維持、河床低下の防止、海岸侵食の進行抑制)		黒部河川事務所 施設管理者	砂防関係施設の整備による土砂災害防止		
	砂防関係施設の整備		黒部河川事務所、富山県	浸水域が河川と重複する下新川海岸の施設整備、黒部川の河道掘削土砂を活用した養浜の実施		
	海岸保全施設の整備・養浜		黒部河川事務所、富山県	水源かん養、土砂流出防備のための森林整備・治山対策の実施		
	森林整備・治山対策		富山森林管理署、富山県(国研)森林整備センター	地形・森林データの共有・分析		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害・流木リスクの分析に基づく対策の実施		黒部河川事務所 富山森林管理署、富山県(国研)森林整備センター	分析結果に基づく必要な土砂災害対策・流木対策の実施		
	霞堤の保全(氾濫流の拡大防止)		黒部河川事務所 関係市町、土地所有者	霞堤の保全のための土地利用ルールの検討(黒部市、入善町)		霞堤の保全のための土地利用ルールの運用(黒部市、入善町)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		黒部市、入善町、朝日町	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など(黒部市、入善町、朝日町)		
	企業水防支援、ライフライン・交通のBCP支援(水災害リスク情報の充実)		黒部河川事務所 富山県、関係市町 施設管理者	水災害リスク情報の作成・共有(黒部市、入善町、朝日町)		浸水防止計画、BCPの策定(黒部市、入善町、朝日町)
	監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握		黒部河川事務所 富山県、関係市町	監視カメラ・観測機器による危険箇所の早期把握体制の整備(黒部市、入善町、朝日町)		危険箇所の早期把握情報の提供・共有(黒部市、入善町、朝日町)
	マイ・タイムライン、要配慮者施設における避難確保計画の作成支援		黒部河川事務所、富山県 関係市町、施設管理者	マイ・タイムライン、避難確保計画の作成支援(黒部市、入善町、朝日町)		
	排水作業準備計画の活用		黒部河川事務所 富山県、関係市町	排水作業準備計画の活用・更新(黒部市、入善町)		
緊急輸送ルートの確保(河川管理・海岸工事用通路の整備・活用)		黒部河川事務所 富山県、関係市町	河川管理・海岸工事用通路の整備・活用(黒部市、入善町、朝日町)			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※左図の氾濫想定範囲は、直轄管理区間において、昭和44年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害が最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲